

第10回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和5年11月30日（木）14:30～

場所：勤労者福祉センター5階大会議室

1. 議事

- (1) 岡山市地域公共交通計画（素案）について
- (2) 今後のスケジュールについて

2. 委員からの主な意見

	意見
阿部教授	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心部でのバスと自転車のすみ分けについて整理した方がよい。
神田教授	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通計画の中に、利用促進についてもう少し踏み込んで記載してはどうか。「バスで生活できる文化をつくる」ぐらいの意気込みがあると良い。 ・ 路線の階層化で利用客が減らないように、乗継拠点の整備などのインフラはしっかりやるべき。それとともに、沿線の住民と密にコミュニケーションをとることも大事。 ・ 計画が出来てからも分科会や作業部会といったところで、継続的に課題を議論できる仕組みが必要。
岡山 電気軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画素案には基本的には賛同。もっと良い計画にするため、目的に、利用促進の点、マイカーから公共交通へのシフト、カーボンニュートラル等を加えてほしい。 ・ 計画の評価指標にある路線バスの収支率について、R10に90%以上とあるが、それでは立ち行かない。5年ぐらいで収支が整うよう進めて欲しい。 ・ 運賃について考えるときには、市内中心部と郊外の2つの体系で考えたい。市内中心部はゾーン運賃的なもの、郊外は今より安い運賃でできるようにしたい。 ・ 通学定期については、より安い設定にしているが、事業者には余裕がない。教育支援という観点で行政にも割引に対する応分の負担をお願いしたい。 ・ 軌道については国の施策が整っている。社会資本整備、軌道運送高度化事業を駆使しながら、市民の皆様方が本当に賛同するならば、そして我々の経営が成り立つならば、計画について協力していきたい。 ・ 政令市における公共交通に対する投資が平均で約48億円であり、今後もう少し支援をお願いしたい。
宇野 自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数は以前から毎年2～3%減少していたので、コロナ禍にならなくても4年で8～12%減少していたことになる。コロナと関係なく構造的な解決が必要。 ・ 路線再編は進められるだろうが、実施計画の同意にあたって、一番の焦点は運賃。運賃はこれまでも上げてきたがうまくいっていない。この惨状をちゃんと考えないと同じことの繰り返しになる。根本的には事業者が路線別に運賃を決められるようにすべき。 ・ 路線の階層化については、各社の個別最適化と、市が考える全体の最適化がイコールではないため、実行性に疑問がある。 ・ 少数事業者への再編が必要。事業者統合が進まないと、特に運賃については話し合いがつかない。

<p>両備 HD</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画策定にあたっては、脱炭素の視点も入れていただきたい。 ・施策の方向性としての、持続可能な公共交通ネットワークの構築（階層化）の中に、供給力の維持・向上の内容を追加して欲しい。 ・IC カードシステムの利便性向上にあたっては、次世代型の決済システムの検討もお願いしたい。 ・利用促進にあたっては、従前の高齢者や障害者だけでなく、子供の利用促進にも力を入れて欲しい ・わかりやすい運行情報等の提供については、例えばロンドン、ソウルの事例を参考に、デジタルサイネージだけでなく、バスに色や番号などをつけて、どのバスに乗ったらよいか利用者がわかりやすくなるよう検討をお願いしたい。 ・計画の評価指標にある路線バスの収支率について、R10 に 90%とあるが、それでは厳しい。目標値の見直しをお願いしたい。
<p>商工会議所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと自転車をお互い上手に結びつけて、それぞれを活かしていただきたい。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体施策を示した実施計画策定にあたっては、事業者の皆さんの同意がある。今後の分科会でしっかり協議していただいて策定に向け、ご協力いただきたい。 ・市がどこまで何をするかについては協議内容も踏まえ、今後の予算の話の中で検討していきたい。

